

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 類型 | 必・選 | 単位数 |
|----|-------------------|----|------|----|-----|-----|
| 1 | クリエイティブ フロンティア | 家庭 | 家庭基礎 | 全 | 必修 | 2 |

講座のねらい

男女ともに家庭生活を営む担い手として、人生を見通し共に生きる、生活を営む、生活を創るということを学習します。そのためにも、生活のさまざまな場合で、男女が共同の責任をもって生活を営む意識を高め、独り立ちの準備として実習や体験を通して実践力を養います。
また、多様な社会の変化に対応できる力を問い直し、一人ひとりが自らの価値観を見出し、生き方を探求し「生活をデザインする力」「人間力」を培うことを目指します。

使用教材及び問題集

教科書 : 家庭基礎 「自立・共生・創造」 (東京書籍)
副教材 : 家庭基礎学習ノート 「自立・共生・創造」 (東京書籍)

授業の内容と進め方

教科書に従って授業を進めますが、それらを発展的に進めるうえでプリントを用います。また、新聞やニュースなどから家庭生活をめぐる多様な出来事を取り出し、家族や家庭生活の在り方について考えます。
講義と実習を組み合わせを進めますが、講義はHR教室で、実習は家庭科室にて行います。

講座の到達目標

- 1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得します。
- 2) 学習した知識や技術を活用し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成します。
- 3) 家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。

評価の観点・テスト・課題など

評価は定期考査が中心となりますが、課題プリント提出で学習状況を確認します。
また、出席状況・授業態度、調理実習への取り組み方を平常点とします。

備考

○用具の準備
調理実習・・・エプロン、三角巾、マスク
裁縫セット

授業の計画

| |
|--|
| 1 学期 学習計画および学習内容 |
| 1 章 自分らしい人生をつくる 1. 生涯発達の視点 2. 青年期の課題 3. 目標を持って生きる 4. 人生をつくる 5. 家族・家庭をみつめる 6. これからの家庭生活と社会 5 章 食生活をつくる 1. 食生活について考える 2. 食事と栄養・食品 |
| 2 学期 学習計画および学習内容 |
| 3. 食生活の安全と衛生 4. 生涯の健康を見通した食事計画 5. 調理の基礎 6. これからの食生活 2 章 子どもと共に育つ 1. 子どもの育つ力を知る 2. 親として共に育つ 3. 子どもの権利と福祉 [調理実習] [作品製作] |
| 3 学期 学習計画および学習内容 |
| 3 章 高齢社会を生きる 1. 高齢期を理解する 2. 高齢期の心身の特徴 3. これからの高齢社会 8 章 経済生活を営む 1. 職業生活を設計する 2. 計画的に使う 3. 国民経済・国際経済と家庭の経済生活 4. 消費行動と意思決定 5. 現代の消費社会 6. これからの消費生活と環境 |